

システム情報工学研究群社会工学学位プログラム  
社会人特別選抜対象  
地域未来創生教育コース  
カリキュラム・入学試験・  
履修方法・経済支援



2020年4月

筑波大学システム情報系

吉瀬章子

## A photograph of a traditional Japanese building with a thatched roof, surrounded by greenery and a large green field in the foreground. The building has a dark, steeply pitched roof with a prominent ridge. The walls are light-colored, possibly white or light grey. The building is situated behind a low, dark fence or hedge. In the foreground, there is a large, vibrant green field, likely a rice paddy. The background is filled with lush green trees and foliage. The overall scene is peaceful and rural.



## 子育て環境の充実



## 見守りロボット・自動運転送迎

## 防災・減災の拠点形成



## 燃料電池・ビッグデータ予測



Diagram of the human brain (Courtesy of *Mind and Cognition*, Simon & Schuster New York)

EUROPEAN CONFERENCE  
FOR **TECHNOLOGY**  
IN **FINANCE**

## 農業の生産性向上



## 農業用小型ロボット・画像認識

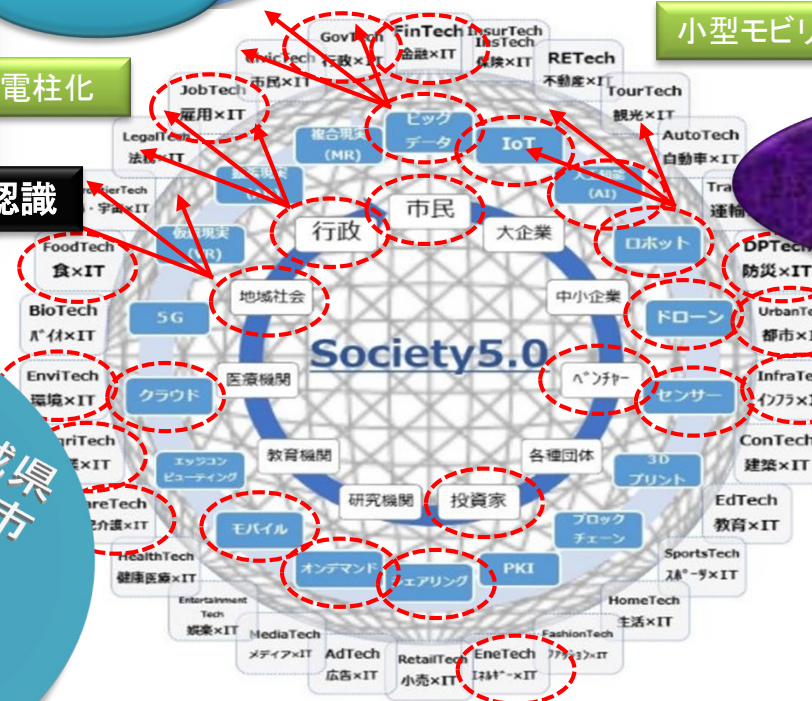
知能化

## スローライフ

## スマートハウス

## 小型モビリティ

無電柱化



社会工学学位プログラム  
「地域未来創生教育  
コース」で開設

地域未来創生教育講座

地域未来  
創生概論

モビリティ・イノベーションの社会  
応用

ブロック  
チェーン  
技術と  
地域未  
来創生

## アクティブラーニング プログラム

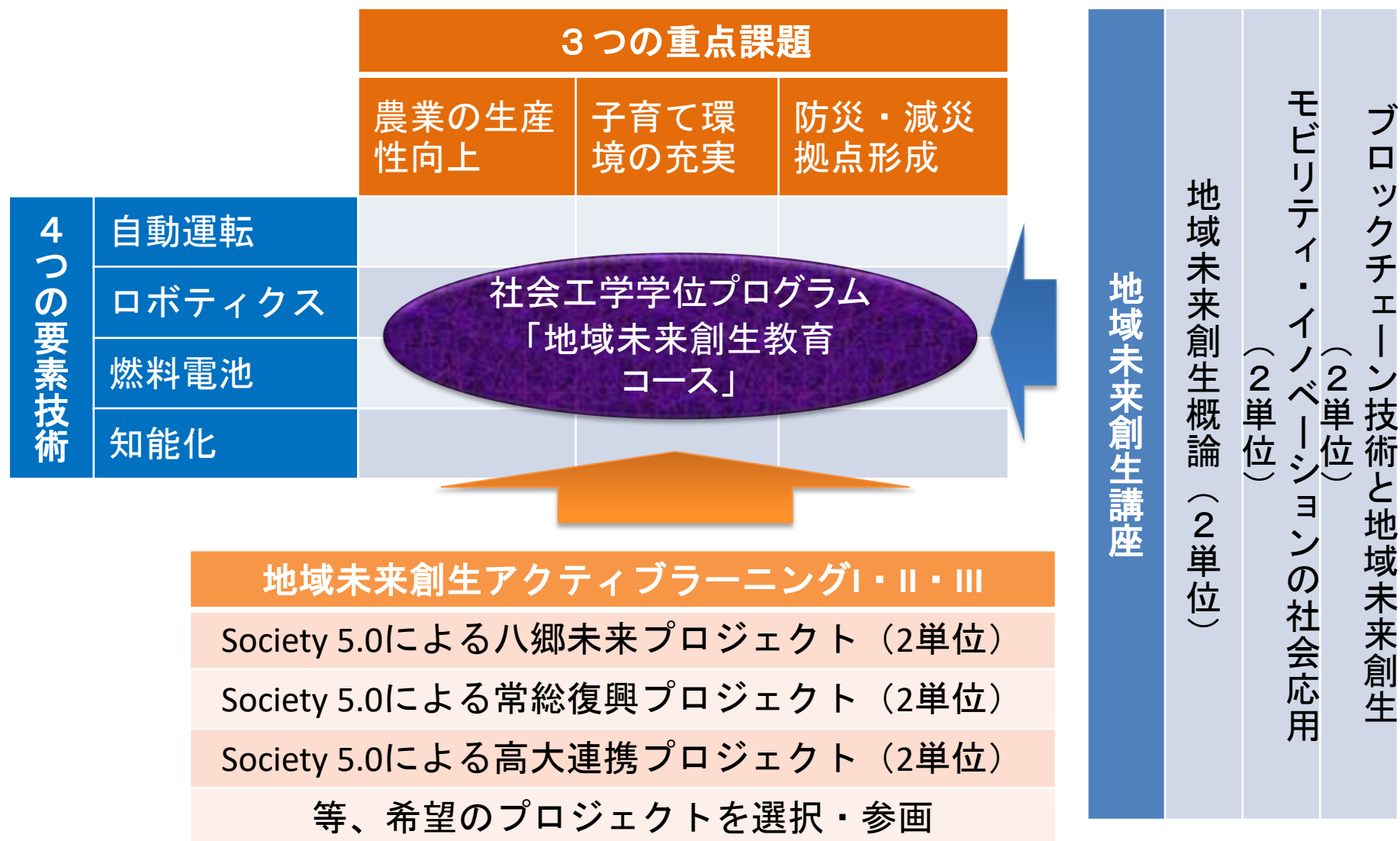
八鄉  
未來  
project

常總  
復興  
project

高大  
連携  
project



- ◆ 「地域未来創生＝  
地域におけるイノベーション創出のための人・知・資金  
の好循環システムの構築」
  - ◆ 少子高齢化、自然災害、エネルギー制約等の地域の困難な  
課題を解決する手段として
  - ◆ 自動運転・ロボティクス・燃料電池・知能化技術の急速な  
進展を活用しながら
  - ◆ 「地域未来創生」を通して世界を先導できる人材を育成す  
る、新時代の教育プログラム
- ➡ 「超スマート社会」（Society 5.0）の実現に貢献



社会工学学位プログラム 社会人特別選抜 募集要項 参照  
[http://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/course/sie/first/6\\_screening/](http://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/course/sie/first/6_screening/)

社会工学専攻（社会工学学位プログラム）（8月期（社会人特別選抜）、2月期（社会人特別選抜））

8月期		8月21日（金）
2月期		2月2日（金）
科目（配点）		口述試験（100点）
専攻	時間	10：00～17：00
社会工学 （社会工学学位プログラム）		個別面接
		口頭発表（5分）：志望動機、学習・研究計画、準備状況、修了後の予定について説明する。
		総合的質疑応答（15分）：発表内容を含め、図表やデータの読み取りによる分析能力や論理的思考能力の確認と総合的な質疑を行う。
		（注5）参照

社会人特別選抜基準  
での評価

面接（日本語・英語両方可）による評価



科目区分		必修科目	単位	選択科目	単位
大学院共通科目 学術院共通専門基礎科目	専門基礎科目			● 左記区分科目から選択	
研究群共通科目群	専門基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モビリティ・イノベーションの社会応用 (週1回×10週)</li> <li>● ブロックチェーン技術と地域未来創生 (土日集中)</li> </ul>	4	● 社工関連科目以外	2単位以上
				● 社工関連科目	6単位以上
	専門科目			● 社工関連科目	0～
学位プログラム科目群	専門基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域未来創生概論</li> <li>● 地域未来創生アクティブラーニングⅠ</li> <li>● 地域未来創生アクティブラーニングⅡ</li> <li>● 地域未来創生アクティブラーニングⅢ (集中)</li> </ul>	8	● 社工関連科目	0～
	専門科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会工学修士基礎演習Ⅰ</li> <li>● 社会工学修士基礎演習Ⅱ</li> <li>● 社会工学修士特別演習Ⅰ</li> <li>● 社会工学修士特別演習Ⅱ</li> <li>● 社会工学修士特別研究Ⅰ</li> <li>● 社会工学修士特別研究Ⅱ</li> </ul>	12	● 社工関連科目	0～
総修得単位数		必修科目	24単位	選択科目	上記合計 12以上

授業に出席できない場合は教員にご連絡ください。録画して後日視聴できます。

## ◆ 経済支援 1

コース履修者は**研究奨励金に応募することができます。**

- (1) 対象者：「地域未来創生教育コース」を履修し、  
勤務先の了解を得て応募した者
  - (2) 種 別：研究奨励金（地域未来創生共同研究奨励金）
  - (3) 支給額：月額50,000円（年額600,000円）
  - (4) 支給時期：毎月（ただし、毎年4月から6月分は7月に一括支給）
  - (5) 支給期間：2年間まで
- 定期的に研究報告をして頂き、継続の可否を確認します。

## ◆ 経済支援 2

コース履修者は**厚労省専門実践教育訓練給付金に申請できます。**

<https://www.mhlw.go.jp/content/11804000/000534908.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/content/000571214.pdf>

- (1) 対象者：「地域未来創生教育コース」を履修し、  
雇用保険の被保険者など一定の条件を満たす者
- (2) 種 別：専門実践教育給付金
- (3) 支給額：本人が支払った受講費用の50%（上限年間40万円）
- (4) 支給時期：6か月ごと
- (5) 支給期間：受講期間



## 【参考】2020年度入学者の奨励金と給付金の計算

$$C = \text{MAX}(A - B, 0) * 0.5 \quad (\text{半期ごとに負担額の5割を給付})$$

$$\text{厚労省返還} = C \text{の総額} - \text{MAX}(A \text{の総額} - B \text{の総額}, 0) * 0.7$$

(負担額の総額の7割を超えた給付金は返還)

厚生省 + 奨励金 (月払い)										
	月額	1期	2期	1年目	3期	4期	2年目	合計	厚労省返還	最終合計
教育訓練費 (学費) A		549,900	267,900	817,800	267,900	267,900	535,800	1,353,600		
奨励金B	51,365	308,190	308,190	616,380	308,190	308,190	616,380	1,232,760		
厚生省給付C		120,855	0	120,855	0	0	0	120,855		
学生負担額		120,855	-40,290	80,565	-40,290	-40,290	-80,580	-15	36,267	36,252
奨励金のみ										
	月額	1期	2期	1年目	3期	4期	2年目	合計	給付金効果	
教育訓練費 (学費)		549,900	267,900	817,800	267,900	267,900	535,800	1,353,600		
奨励金	51,365	308,190	308,190	616,380	308,190	308,190	616,380	1,232,760		
厚生省給付		0	0	0	0	0	0	0		
学生負担額		241,710	-40,290	201,420	-40,290	-40,290	-80,580	120,840	84,588	

2年間の負担額

より詳しくは

[yoshise@sk.tsukuba.ac.jp](mailto:yoshise@sk.tsukuba.ac.jp) まで

「地域未来創生教育コース希望」

とご連絡ください。

在籍生によるZoom相談会の情報をお送りします。